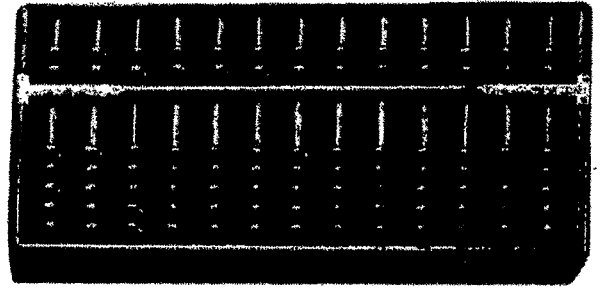


中国のそろばん

五珠2個、一珠5個です。五珠2個は中国で1斤=16両の計算に使われていました。また8+7の計算や留頭乗法（中乘法）、尾乘法、帰除法にも使います。



中国そろばん

珠は写真のようにだんご型のものです。

このころには、そろばんが中国から伝わっていた

そろばんがいつ伝来したのか、はっきりした年代は分かりません。おそらく文物輸入の最先端にいた僧侶や、日明貿易（当時の中国は明の国）に携わっていた商人たちによって日本へ伝えられたものでしょう。この頃計算を必要としたのは、主として荘園を持つ寺院や領主と貿易商人でした。

そろばんが日本の文献に出てくるのは、室町時代初期の「魁本対相四言雑字」（中国版の復刻）や、室町時代末期の「日本考」（中国のもの）や、文禄4年（1595）に出版された「ラ・ポ・日対訳辞典」などです。

Calculus, i. Lus. Sexinjo, l, pedrinha.
lap. Comacanu ixi. i Item. Peça do
enxadrez. lap. Xógumotma. & Item,
Pedra doença. lap. Xegrin. & Item,
Contos, ou tentos de coitar. lap. Soroban,
langui. & Revocare seu reducere ad
calculu. Lus. fazer cōtas muda, e exacta
mente. lap. Comacani (jyō) iuru. & Itē,
Veto dos que julgam, & dam seu parecer.
lap. Qendainno zōibun, l, dancō
xuno zōibua.

Cal.

「ラ・ポ・日対訳辞典」
5～6行目にソロバンの文字が
みえます。

（ラはラテン語、ポはポルトガル語、日は日本語）